



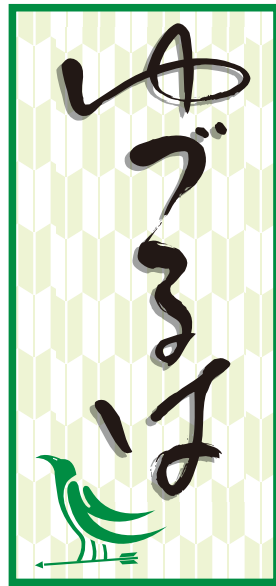
昨年、来年の御鎮座二一七〇年に向けて昨年より奉賛活動を進めてまいりました。既にご二五〇名を超える、企業や個人様より御浄財を頂戴いたしました。これ一重に、氏子崇敬者皆様のご理解と大神様のお導きと感謝いたしております。又、奉祝事業

の先頭を切って今秋十月十二日(金)に「務古比売命」を上演する運びとなりました。

「能」の形式をとった新作の「祭祀舞」で、日本人の持っている宗教観を原点に宗派を超えて「生きる喜び」を謳い上げております。

今回の上演にあたっては、弓弦羽神社崇敬会・神戸甲南ライオンズクラブのご協賛と、灘五郷酒造組合・東灘区役所・神戸新聞よりご後援ならびに、地元御影連合会にはご協力をいただいております。

三〇〇席を用意いたしております。先着順となりますのでご希望の方は、早めに神社社務所までお問い合わせください。



ゆづるは神社社報

発行所  
弓弦羽神社社務所  
〒658-0048  
神戸市東灘区御影郡家2丁目9-27  
(旧地名：弓弦羽ノ森)  
TEL 078(851)2800  
FAX 078(851)2803  
URL=<http://www.yuzuruha-jinja.jp/>

印刷所  
(株)マテックス  
神戸市中央区筒井町2丁目1-38

ご挨拶

宮司 澤田政泰

月に一度は氏神様にお参りしましょう。

新車は必ず交通安全祈禱にご参拝ください。

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <p>吟仕込み味處<br/><b>はいがら</b></p> <p>〒658-0054<br/>神戸市東灘区御影中町4丁目8-25<br/>TEL 078-856-5791<br/>営業時間 5:00PM~10:00PM<br/>毎週水曜日定休</p>   | <p>米工房<br/>KOME &amp; SAKE<br/><b>高田屋</b></p> <p>0120-05-5138</p> <p>灘の地酒・ワイン<br/>六甲ビール・こだわり焼酎<br/>(山手幹線沿い山側)</p>  | <p>MAISON DECOR<br/>DESIGNER FABRICS<br/>MAISON DECOR<br/>メゾンデコール</p> <p>東灘区御影郡家1丁目25-12<br/>グレイス御影1F<br/>PHONE 078-854-5810<br/>FAX 078-854-5786<br/>営業時間 AM10:30~PM6:30 水曜定休<br/>美しい布のある暮らしを提案します</p>   | <p>襖・表装・屏風<br/>各種壁張</p> <p><b>錦綾堂</b><br/><b>夏原表具店</b></p> <p>東灘区御影2丁目2-17<br/>(阪急御影駅前東)<br/>電話 (078) 851-8310<br/>FAX (078) 851-8310</p>                 |
| <p>平つくり生活産業</p> <p><b>(協)御影市場(旨水館)</b><br/>(阪神電車 御影駅高架下)<br/>神戸市東灘区御影本町4-11-10<br/>TEL(078)841-2954<br/><a href="http://www.mikage-ichiba.com">http://www.mikage-ichiba.com</a></p> | <p>おまかせください!</p> <p>のぼり 幕<br/>法被 たすき<br/>提灯 太鼓<br/>その他祭礼用品</p> <p><b>株式会社 谷尾</b></p> <p>神戸営業所<br/>神戸市兵庫区水木通6-3-4<br/>TEL 078-575-7721 FAX 078-575-7621</p> | <p>抹茶と茶道具・茶道教室<br/><b>いわたん</b></p> <p>住所:<br/>〒658-0047 神戸市東灘区御影2丁目10-27 エレガントライフ御影301<br/>TEL&amp;FAX:078-851-3114<br/>営業時間:午前10時~午後6時<br/>定休日:毎週火曜日<br/>ホームページ:<br/><a href="https://sites.google.com/site/mikageiwataen">https://sites.google.com/site/mikageiwataen</a></p> | <p>創業享和元年<br/>御菓子司<br/><b>虎屋吉末</b></p> <p>東灘区御影本町四丁目一<br/>電話〇七八(八五二)二四四四</p>  |
| <p>YAKINIKU RESTAURANT</p> <p><b>高麗飯店</b></p> <p>東灘区御影郡家1丁目21-15<br/>TEL(078)842-3319<br/>FAX(078)842-3398</p>  | <p>池尻石材工業</p> <p>一神戸支店一<br/>神戸市東灘区御影本町4-12-28<br/>御影旨水館内<br/>電話 078-851-3400<br/><a href="http://butsuji-ikejiri.com/">http://butsuji-ikejiri.com/</a></p> | <p>カラオケ喫茶・スナック<br/><b>Live</b></p> <p>カラオケ・喫茶 午後1時~午後4時<br/>(土・日・祝 休み)<br/>スナック 午後7時~午後11時30分<br/>(日・祝 休み)</p> <p>神戸市東灘区御影本町4丁目12-7<br/>電話 (078) 854-0499</p>   | <p>炒ばた焼<br/><b>現吉</b></p> <p>阪神御影<br/>御影中町1丁目4-15<br/>Tel 851-2695</p>  |
| <p>SANYO AIR SERVICE CO.,LTD<br/>地球規模の感動を届けたい</p> <p>神戸No.1の店舗ネットワーク<br/><b>SAS 三洋航空サービス</b></p> <p><a href="http://www.travelsas.co.jp">http://www.travelsas.co.jp</a></p>         | <p>御菓子司<br/><b>常盤堂</b></p> <p>神戸市東灘区御影中町4丁目<br/>電話 078(851)4677番代</p>  | <p><b>めぐみ</b><br/>弓弦羽神社 北側<br/>☎ 078-822-2239<br/>休診日曜・祝日<br/>めぐみ鍼灸院</p>  | <p>【神前拳式バック】<br/><b>¥200,000</b>(税別)</p> <p>ご新郎様・ご新婦様 衣裳一式<br/>着付け・ヘアセット・メイク<br/>全て揃ったトータルバック</p> <p>(株)スエヒロ衣裳<br/>西宮市戸田町4番8号<br/><b>0798-33-1814</b></p> |
| <p>清酒<br/><b>白鶴</b><br/>時をこえ 親しみの心をおくる</p>  |  | <p>辛口ひとすじ<br/><b>菊正宗</b><br/>神戸・灘 菊正宗酒造株式会社<br/>菊正宗ホームページ <a href="http://www.kikumusamune.co.jp">http://www.kikumusamune.co.jp</a></p>   |   |

# 東郷さん 乃木さんに 明治の日本人のこころを訪ねる①

全国教育関係神職協議会 会長  
全国龍野会鳥取県支部長

葦原神社 宮司 河合 鎮徳



## はじめに

今年が明治維新百五十年、節目の年です。西郷さんも取り上げられ、明治という時代についての検証もなされることでしょうか。

私も今回、明治にちなんだ内容をお届けしたいと思います。弓弦羽神社の氏子さんには最大手の酒造会社が複数あり、うらやましいかぎりです。でも、私の鳥取県に、不思議なお酒があります。それを紹介することでいい交歓ができればと思います。

## 東郷平八郎とお酒

明治三十八年五月二十七日のことです。「天気晴朗

酌ノ酒 陶然トシテ 酔ウ」そのしたためました。

これが稲田本店の「トップ水雷」にまつわるお話です。「トップ水雷」のトップは、昭和六年、全国に先駆けて、冷酒感覚で「水雷」を呑めばおいしだろうと考案され、当時ハイカラだった英語を使い「トップ水雷」で売り出したようです。暑い夏の夕方、縁側に座り、井戸水でつめたく冷やした「トップ水雷」を呑めば、きつといくらでもすすむことでしょう。

東郷さんの揮毫した書は、「一升瓶の「肩張り」(ビンの胴に貼られているのが肩張り)、ビンの首あたりに貼られているのが肩貼り)」に貼られています。それを眺めながらの一杯もいいですね。

## 東郷さんの武士道

バルチック艦隊を率いたロジェエストヴェンスキーは傷つき、日本の病院に入院していましたがそこを東郷さんが見舞いました。このあたりは『海の史劇』(吉村 昭 新潮文庫)や『旗艦三笠の生涯』(豊田 穰 光人社NF文庫)に詳しいのでお読みください。

ここで大切なのは敗軍の将を見舞う武人としての東郷さんの心です。明治の武人たちはこのように崇高な気持ちを持っていたのです。同じことが陸軍の乃木さんにも当てはまります。

次回は乃木さんの武士道とロシア水兵を弔った日本人の心を鳥取海岸発でお届けします。

なれど波高し」有名な日本海海戦の天候を伝える一文です。ロシアバルチック艦隊は一体どこを通過するのか躍起になっていた軍司令部は、ひそかに高島嘉右衛門にも占わせていました。(『高島易断を創った男』持田 鋼一郎著 新潮新書) 対馬に現れることが確実となり、東郷の指揮する連合艦隊は準備を整え待ちました。海戦のことは皆さんよくご存知ですので省きます。ロシアの主力艦の殆どが沈み、かろうじて幾隻がウラジオストツクに逃げ込もうと必死でした。

連合艦隊の戦果は大きく勝敗は決定的でありましたが、その残存艦艇に向けて、日本水雷戦隊が夜襲をかけます。いわゆる「落ち武者狩り」といわれる攻撃で、その殆どが沈み、降伏しました。この攻撃によって戦果がさらに大きくなったのです。東郷司令長官も内心とても喜んでいたに違いありません。

海戦を終えて、九月八日「三笠」に居た東郷に上京命令が下り、列車で東京へ向かうとき「三笠」の爆沈を知ります。この後懸命の作業が続き「三笠」は再び旗艦となります。がここでは割愛します。

明治四〇年五月、嘉仁(よしひと)親王、のちの大正天皇は山陰を行啓されます。随行は東郷。御宿泊所鳳翔閣(現米子市湊山球場界隈)すぐ近くの蔵「稲田本店」に立ち寄りまず一杯呑み干した東郷。「うーんこれは効いてくる。まるで水雷のようだ。この酒を水雷と名づけよ。」と。東郷は「水雷一発 轟然ト響ク一

## 《トップ水雷ゆかりの書》



### ●東郷元帥直筆の書

水雷を命名された東郷元帥直筆の書が稲田本店の資料館に保存されています。



株式会社 稲田本店



### トップ水雷

嘉仁親王(のちの大正天皇)が米子行啓の際、お供の東郷元帥が命名されたもので、日露戦争当時、日本海戦で活躍せる新兵器「水雷」をもって酒銘とされた。



